



国土交通省 (NETIS) 登録No.SK-010017V (旧登録)

自然土防草材

特許登録商品

# ガンコマサ

荷姿



25kg



500kg



1t

※500kg・1tフレコン受注生産

## 使用用途



植樹帯



屋外設置機器周辺



鉄道 線路脇



高速道路中央分離帯



工場緑化



歩車道分離帯

# 伝統と味わいの「信頼と実績!!!」 17年以上の防草効果

平成10年に発売以来、土舗装材業界のパイオニアとして**356万袋の出荷**と**17年以上の防草効果**を維持し、やすらぎのある快適な住環境を提供しています。



### 17年経過写真

1998年施工  
蔵本公園 (徳島市)  
ガンコマサは施工してから15年以上、雑草を抑制する為、様々な機関で信頼を頂いております。



### 大規模施工の実績

ガンコマサの信頼と実績により、大規模な防草工事でも採用。



## 地球にやさしい

土壌環境基準  
基準値以下

### ■土壌環境基準 基準値以下 重金属等 (第2種特定有害物質)

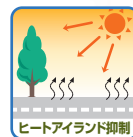
土壌環境基準・重金属等は基準値以下の安心素材。人・動物・環境にやさしい品質。

第二種  
改良土

### ■建設発生土土質区分

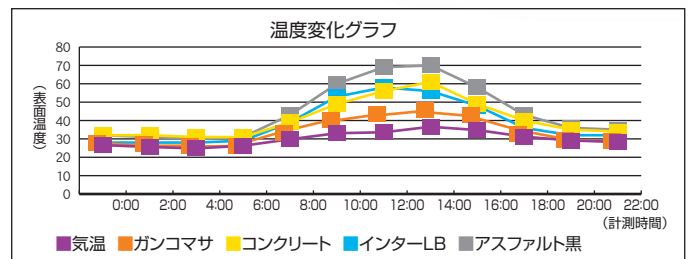
地域ごとに定められた処理方法により、再利用することも可能です。

※自治体によって条例が異なりますので、自治体にご確認ください。



## ヒートアイランド現象の緩和

アスファルト・コンクリート舗装と比べ表面温度が低くなり、夏場の照り返しを和らげます。この事からヒートアイランドの抑制にも期待できます。



# 自然土の 風合いながら 雑草を抑える

ガンコマサシリーズは草を抑え、ヒートアイランド対策にも期待できます。発売から17年以上の実績と356万袋の信頼があなたの強い味方です。



神社境内



通信会社 基地局



鉄道会社 線路脇



高速道路(東大阪JCT)



吉野川サービスエリア



電力会社 変電所

## 施工基準

標準施工厚 **30mm**  
使用数量 **2.0袋/m<sup>2</sup> (50.0kg/m<sup>2</sup>)**



## 施工要領 ~散水工法~

### ①下地調整



※除草作業及びスキ取り作業を行ないます。  
(抜根作業)  
※不陸修正を行ないます。  
※締め固め(転圧機にて転圧)

### ②敷き均し



※配袋量: 2.0袋/m<sup>2</sup> (仕上り敷き厚: 30mm)  
※均配を考慮しながら敷き均します。  
※幹周りは、樹木直径の3倍空けます。

### ③表面仕上げ(刷毛引き)



※コテ及びローラーの跡を消します。  
※表面粒子の偏りを無くし、均一な仕上がりにします。  
※施工表面を軽く撫でる程度に行います。

### ④散水



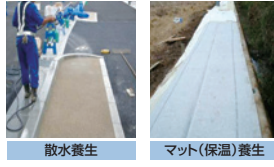
※必要散水量: 7~8L/m<sup>2</sup> (施工厚: 30mm)  
※シャワー状の柔らかい散水を全体にまんべんなく行います。  
※表面に水が浮き上がる程度の散水を5~10分置きに3回行います。

### ⑤掘込透水確認



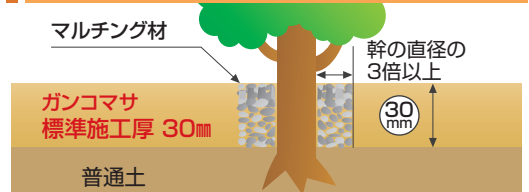
※施工面を直接掘込み、水の浸透レベルを目視で確認します。  
※施工厚の2/3以上に水が浸透していることを確認します。不足している場合は再度散水を行ないます。

### ⑥養生



※施工完了後の急激な乾燥を防ぐためにシャワー状の散水を行います。(施工約1時間後に行う)  
※夏季施工時には翌日も散水養生を行なってください。  
※冬季施工時には初期凍害を防止するために施工終了後に「マット養生」を行ないます。

## 舗装断面図



ガンコマサの下地は、現状土を締め固めます。下地の状態が悪い場合は、砕石や客土を補足し適正な下地(路盤)を形成します。樹木の保護のため、幹の周り(目安としては幹の直径の3倍以上)は空けて施工し、マルチング材を施工します。

### 標準歩掛(100m<sup>2</sup>/日当たり) 平面施工・障害物なし

土木一般世話役	1.0人	※当社標準歩掛になります。
普通作業員	3.2人	※障害物がある場合は労務費割増しになります。
ガンコマサ25kg	200袋	※養生費については別途計上してください。
諸雑費	労務費の10%	

※耐久性向上を図るためには転圧ローラーをご使用ください。  
※掲載している写真は、撮影時期・天候・印刷等により色合いが異なる場合があります。

- 施工上の注意
1. 下地(路盤)転圧にはプレートタンパ・ハンドガイドローラー等の重機による転圧を行なってください。
  2. 使用するコテは木コテもしくはプラスチックコテを使用してください。金コテは使用しないでください。
  3. 降雨、降雪時には、施工しないでください。
  4. 屋内での使用はしないでください。
  5. 凍結の恐れがある為、日中の気温が5℃以下の時は、施工しないでください。
  6. 夏季は散水養生を行なってください。
  7. 冬季は施工後にマット(保温)養生をおこなってください。
  8. 施工後に降雨が予想される時は、シート養生を施してください。

## 組み合わせ工法

### 端部雑草防止材 ハシピタン



ハシピタン使用



ハシピタン未使用

構造物と舗装体隙間からの雑草をシャットアウト!



1袋あたり5m  
100mあたり20袋必要です。

下地端部にハシピタンを敷き均すことで構造物とガンコマサ境界部からの雑草発生を抑制することができます。

### 工法概要図

#### ●防草断面図

